

事務事業評価シート（評価実施年度：平成27年度）

上位の施策名称	施策1-2-1 売れる農林水産品・加工品づくり
---------	-------------------------

1. 事務事業の目的・概要

事務事業担当課長	畜産課長 田邊 裕彦	電話番号	0852-22-5132
----------	------------	------	--------------

事務事業の名称	畜産公共事業
目的	(1) 対象 畜産担い手農業者等 (2) 意図 飼料基盤の整備や家畜保護施設の設置及び家畜排泄物の地域リサイクルシステムの構築などを行うことにより地域畜産の担い手育成や畜産主産地としての体制づくりを行い、畜産の持続的発展と地域の活性化を図る。
事業概要	・隠岐島後地区の肉用牛振興に必要な放牧場や畜舎などを整備 ・隠岐島前Ⅱ地区は平成26年度から事業開始。肉用牛振興に必要な放牧場や畜舎などを整備。

2. 成果参考指標

(1) 成果参考指標	指標名	年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	単位
			式・定義	草地完成・整備面積	目標値	48.20	57.20	
	面積ha（畜産公共事業の実施計画による。）	実績値	20.30	28.00	32.00	52.99		
		達成率		58.10	55.90	91.30		%
指標名	年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	単位	
		目標値	0.00	0.00				
式・定義	実績値	0.00	0.00	0.00				
	達成率		0.00	0.00			%	

3. 事業費

	26年度実績	27年度計画
事業費(b) (千円)	124,266	98,830
うち一般財源(千円)	25,809	19,830

4. 改善策の実施状況

前年度の課題を踏まえた改善策の実施状況	②改善策を実施した（実施予定、一部実施含む）
---------------------	------------------------

5. 評価時点での現状（客観的事実・データなどに基づいた現状）

<p>草地基盤を整備し、肉用牛の自給率向上を進めてきた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・隠岐島後地区：(H24~26) 放牧林地用整備57.3ha、道路整備3257m、用排水湿雪整備2か所、雑用水施設整備3か所、施設用地造成整備0.25ha、隔障物整備9543m、家畜保護施設整備1棟、家畜排泄物処理整備1棟、放牧馴致施設整備6か所 ・隠岐島前Ⅱ地区：(H26) 草地造成0.37ha、草地整備0.42ha、野草地整備15.8ha、雑用水施設整備1か所、隔障物整備3160m、家畜保護施設整備1棟、放牧馴致施設整備1か所

6. 成果があったこと（改善されたこと）

<p>放牧面積が拡大。 隠岐島後地区、島前地区で20.99haの放牧地が増加。 法人等での肉用牛増頭が進んでいる中、自給飼料基盤が着実に増加している。 年間利用で21頭分の放牧面積を確保した。</p>
--

7. まだ残っている課題（現状の何をどのように変更する必要があるのか）

<p>①困っている「状況」 隠岐島後地区の放牧地について、傾斜地等が多いことから、予定より放牧面積が確保できない箇所が確認された。</p>
<p>②困っている状況が発生している「原因」 当初計画より、地形が土木工事を実施するに当たり困難であった。</p>
<p>③原因を解消するための「課題」 ・工事実施面積の積算と事業完了までの工程の検討。 ・面積確保のために代替地の確保。</p>

8. 今後の方向性（課題にどのような方向性で取り組むのかの考え方）

<p>地元市町及び事業主体（しまね農業振興公社）と連携を密にしなが代替地を確保し、事業計画の変更も視野にいれながら効果的な事業実施に取り組む。</p>

◎課(室)内で事務事業評価の議論を行うにあたっては、本評価シートのほか、必要に応じて、「予算執行の実績並びに主要施策の成果」や既存の事業説明資料などを活用し、効率的・効果的に行ってください。

◎上記「5. 評価時点での現状」、「6. 成果があったこと」、「7. まだ残っている課題」、及び「8. 今後の方向性」について、議論がしやすいように、「5. 評価時点での現状→6. 成果があったこと」、又は「5. 評価時点での現状→7. まだ残っている課題→8. 今後の方向性」が一連の流れとなるよう、わかりやすく、ストーリー性のあるシート作成に努めてください。

9. 追加評価（任意記載）

<p> </p>
